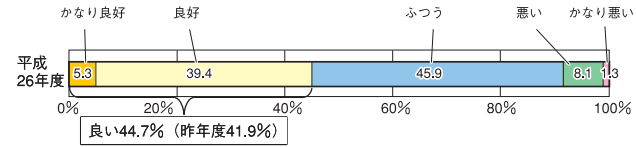


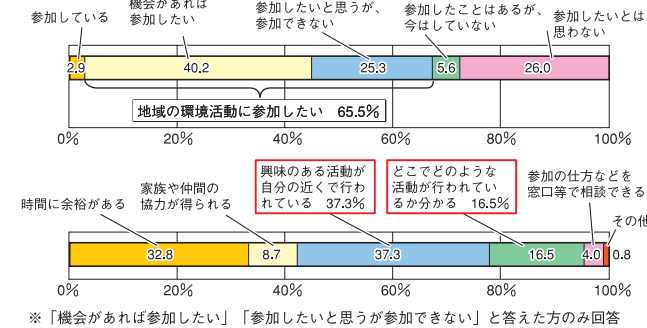
# 環境に関する市民意識調査から

## 【問】横浜の環境の現状について、どのように感じますか？



横浜の環境の現状についてどのように感じているかという質問に対して「ふつう」という回答が45.9%と一番多いものの、「かなり良好・良好」という回答の合計も44.7%あります。

## 【問】地域の環境活動に参加したいと思いますか？



地域の環境活動に参加しておらず、「機会があれば参加した」方が40%、「参加したいと思うが参加できない」方が25%、併せて65%いました。この回答をした方に、どのような機会があれば地域の環境活動に参加するか伺ったところ、「興味のある活動が自分の近くで行われているか」「どこでどのような活動が行われているかわかる」という回答が多くありました。

## 【問】今後、横浜市に優先的に取り組んでほしい取組は何ですか？

- 上位5項目 (全19項目中・複数回答可)
- ①公園や道路、河川沿いの緑の保全・創出 (34.5%)
  - ②横浜らしい景観の保全 (28.1%)
  - ③地球温暖化防止への取組 (28.0%)
  - ④ごみの減量・リサイクル (3Rの推進) (25.0%)
  - ⑤省エネルギーや新エネルギーの利用の取組 (22.4%)

今後、横浜市に優先的に取り組んでほしい事項として、全19項目のうち、1位は公園や道路、河川沿いの緑の保全・創出、2位は横浜らしい景観の保全、3位は地球温暖化防止への取組でした。

## 平成26年度「環境に関する市民意識調査」

実施期間：平成26年8月7日～13日 設問数：35問 調査方法：インターネット調査

## もっと横浜の環境について知りたいと思ってくださった皆様へ

「横浜の環境」本編・資料編では、より細かな環境の現状や横浜市の実践を紹介しています。

ぜひそちらもご一読ください。

- ・横浜市環境創造局ホームページにて全文 (PDF形式) をダウンロードできます。
- ・市立図書館・区役所、市役所市民情報センター等で閲覧できます。
- ・市役所市民情報センターで「本編」「資料編」セットで購入できます (1セット1,000円)。

環境創造局ではイベント情報を発信しています。

<http://www.city.yokohama.lg.jp/kankyo/index3.html>

横浜の環境

検索



# 横浜の環境

横浜市における環境の現状や、取組状況についてお知らせします

## 平成26年版 横浜市環境管理計画年次報告書

## 概要版



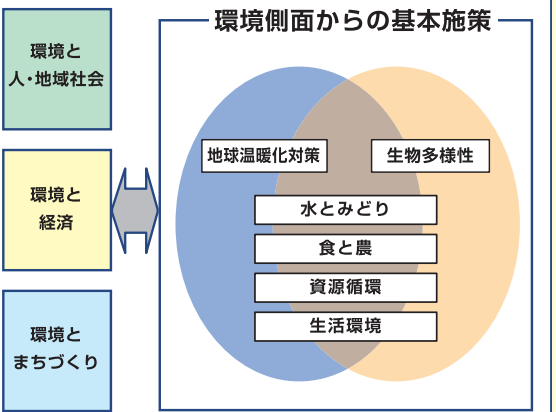
写真：区々の環境への取組

## 「人・地域社会」「経済」「まちづくり」の視点を踏まえ、取組を進めています

多様で広範な環境問題へ適確に対応していくため、横浜市では、総合的な3つの視点「人・地域社会」「経済」「まちづくり」を踏まえるとともに、「地球温暖化対策」「生物多様性」を柱とした、環境側面からの6つの基本施策を展開しています。

「横浜市が目指す将来の環境の姿」の実現に向け、こうした環境への取組を着実に進めています。

総合的な視点による基本政策



## 横浜市が目指す将来の環境の姿

- 環境技術の導入やライフスタイルの変革などにより、温室効果ガスの排出が大きく削減している低炭素なまち
- 郊外部だけでなく、都心臨海部においても身近に多様な生き物を感じられる、水とみどり豊かな自然環境があるまち

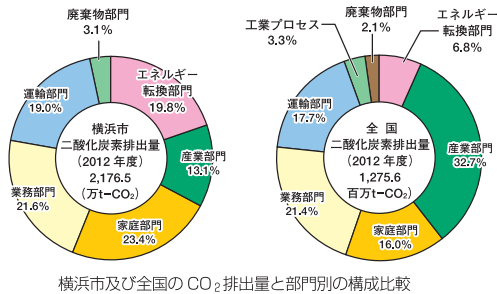
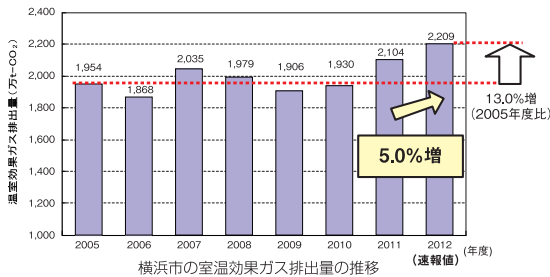


# 地球温暖化対策

～化石燃料に過度に依存しない  
ライフスタイルへの転換～

横浜市の平成 23 年度の温室効果ガスの排出量は、CO<sub>2</sub> 換算で約 2,104 万 t-CO<sub>2</sub> で、日本全国の排出量の約 1.6% を占めます。また、平成 24 年度の速報値は、2,209 万 t-CO<sub>2</sub> で、23 年度比では 5.0% 増加しています。

温室効果ガスの大部分を占める二酸化炭素の排出構成を横浜市と全国で比べると、横浜市は産業部門の占める割合が低く、家庭部門（家庭生活からの排出）の割合が高くなっています。



横浜市及び全国の CO<sub>2</sub> 排出量と部門別の構成比較

## ●主な取組●

- ヨコハマ・エコ・スクール (YES) の展開
- 横浜スマートシティプロジェクトの推進
- EV シェアリングや超小型モビリティ「チョイモビ ヨコハマ」の活用

# 生物多様性

～身近に自然や生きものを感じ、楽しむことができる豊かな暮らし～

平成 26 年 8 月に実施した「環境に関する市民意識調査」では、生物多様性という言葉をよく知っている「ある程度知っている」という人が 43.1% でした。

横浜市は、「生物多様性横浜行動計画 (ヨコハマ b プラン)」を策定し、市民が身近な生き物とふれあい、生物多様性の理解を深め、行動を起こしていくため、市民・企業の皆様と連携しながら、普及啓発や、生き物調査、場づくりの取組等、様々な取組を進めています。

## ●主な取組●

- 環境行動フェスタの開催
- 環境教育出前講座の実施
- 学校ビオトープの活用促進

## 子ども「いきいき」生き物調査 調査票及びカブトムシの結果



- ・家や学校の近くで見つけた生き物を報告してもらう
- ・市内全域調査を実施
- ・5年生を中心に 150 校、11,419 名の児童が参加

# 水とみどり

～自然の恵みを楽しめる  
環境の保全・再生・創造～

# 食と農

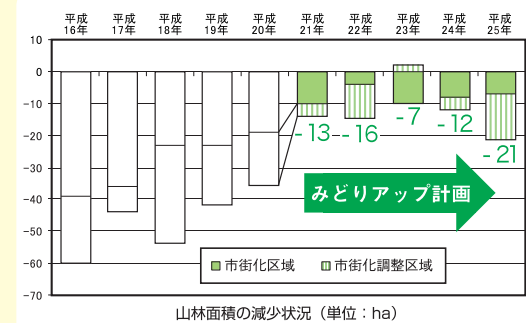
～“食”と“農”との連携による  
横浜型農業の新たな展開～

# 資源循環

～循環型社会の構築～

# 生活環境

～安全で安心・快適な  
生活環境の保全～

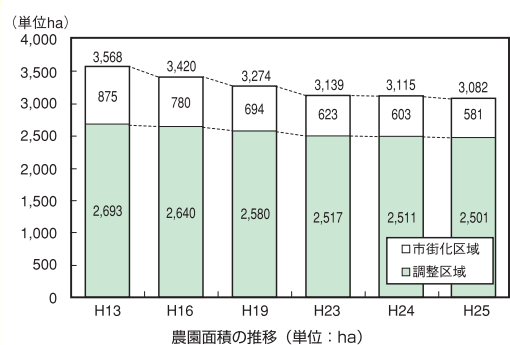


山林面積の減少状況 (単位: ha)

平成 21 年度から実施してきた「横浜みどりアップ計画 (新規・拡充)」では緑地保全制度による地区指定の拡充や、相続など不測の事態による買い取り希望等の対応により、樹林地の減少傾向は鈍化しており、緑の減少に一定の歯止めがかかっています。

## ●主な取組●

- 横浜みどりアップ計画 (新規・拡充施策) による、樹林地を守る取組・緑をつくる取組
- 雨水貯留タンクや雨水浸透ます設置助成
- 水辺拠点整備等、多自然の川づくり



農園面積の推移 (単位: ha)

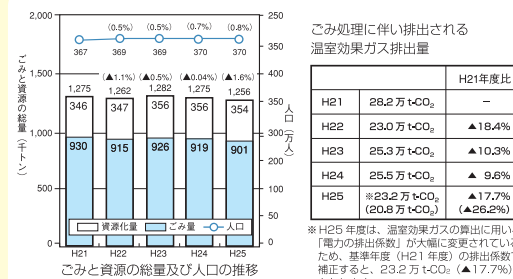
「農」のある環境を守るため、水田やまどまりのある農地の保全を進めています。また市民が身近に感じる地産地消の取組を進めています。



「横浜農場」発の農産物の需要拡大を目指します。

## ●主な取組●

- 農地保全
- 市民利用型農園の設置
- 食と農の連携による地産地消の推進

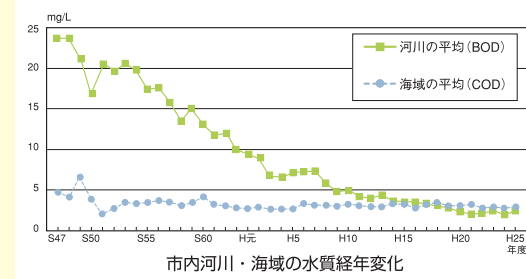


「ヨコハマ 3R 夢プラン」に基づき、3R の中でとりわけ環境にやさしい発生抑制 (リデュース) に取り組むことで、環境に配慮したライフスタイル・ビジネススタイルへの転換を図っています。

平成 25 年度のごみと資源の総量は、約 125.6 万 t で、平成 21 年度に対して 1.6% (約 2 万 t) 減少し、ごみ処理に伴い排出される温室効果ガスの排出量は、約 23.2 万 t-CO<sub>2</sub> で、17.7% (約 5 万 t-CO<sub>2</sub>) 減少しました。

## ●主な取組●

- マイボトル・マイバック等リデュースの取組
- 自治会等実施の資源集団回収
- 生ごみ資源化に関する調査



※ BOD…有機物による汚れの度合いを表す指標の一つ。微生物の働きで有機物を分解するときに消費される酸素の量。  
※ COD…有機物による汚れの度合いを表す指標の一つ。汚濁物質などを酸化剤で酸化するときに消費される酸素の量。

「大気汚染防止法」「水質汚濁防止法」「騒音規制法」などに基づき、大気汚染、水質汚濁、騒音の調査を行っています。

今後も引き続き、安全で安心・快適な生活環境を保全するため、関係法令や生活環境保全条例に基づき、各取組を着実に推進します。

## ●主な取組●

- 東京湾環境一斉調査
- PM2.5 の常時監視・高濃度予報の発信
- 化学物質対策、騒音・振動対策